

発行: 創造的教育グループ WAYシンガポール校

順天堂大学医学部にG12生が合格しました。  
非常に真面目で努力を惜しまない生徒でした。

海外のインター校から医学部合格はとても難しいのですが、  
去年も横浜市立大学医学部、東北大学医学部と医学部に2名  
合格しており、2年連続で合格しました。全員女生徒でした。

AIが大きく社会に浸透して、事務職が周辺に追いやられている時代に、女性が特別な技能を身につけて社会に出て、人々に役に立つ仕事をしようとしていることの意義は大きいです。ちなみに、IBで40以上を取ることが、医学部を狙う基準になります。

勉強のポイントを繰り返して言います。

1 英文法は英語の土台ですから、まず、文法をしっかりとやる。

2 IELTSで、英語を「正確に論理的に読む」訓練をする。  
(この女生徒はIELTSで満点の9をreadingで取っています。)

3 SATで高度な英語を読む訓練をする。  
IELTS、TOEFLで高得点を取るにはSATの高度な英語で読解を鍛える必要があります。IELTS、TOEFL以上の読解スキルを獲得すること。

そうすれば、必ず他の国際テストの点数は上がっていきます。  
また、当然、IBレベルの英語に太刀打ちできるようになります。

4 WAYの単語集をしっかりとやると、知らない単語が国際テストでほとんどなくなります。これを真剣にやる。

5 日本語コースでは、論理トレーニングをしています。  
徹底的に論理力を鍛え上げ、英語を論理的に書けるようにする。  
(ほとんどの生徒の英文は感想文の域を出ていません。  
英語は論理で書くのです。)

以上の5つをしっかりとやる事で、IB40以上がとれる基礎体力がつかます。(今年は6名の生徒がIB40以上を取りました。)  
大切なのは授業を休まず、真面目にしっかりと取り組むことです。

私は今後も一人ひとりの生徒に合ったアドバイスをし、真剣に教えていきます。  
WAYのミッションである「次世代を強化する」を実現していきます。

## 英文法強化クラス

英語の基礎は、単語と英文法を徹底的に強化することによって作られます。多くのインター生は英文法を学んでいないので、ブロークな英語のまま放置されています。それは、まるで液化化した土地に建物を建てていることに似ています。WAYでは、岩の上に家を建てるように、嵐が来ても、びくともしないしっかりとした基礎を作ることを目指しています。そうすることによって、更なる英語力を伸ばす土台を作ります。

## IELTS クラス

現在、英語の教材のリーディングテキストとしては、IELTSの教材が最も優れていると私たちは判断しています。読む力以上に、ライティングやスピーキングの力が上がることはありません。IELTS クラスでは、論理的に英語を読む訓練を徹底的に行っています。また、IELTSの読解を通して、TOEFLの点数を上げるために、TOEFL 無料講座を動画で提供しています。このクラスからでも、慶應大学や早稲田大学に合格する生徒がいます。

## SAT クラス

欧米、シンガポールのトップレベルの大学、および日本のトップレベルの大学を突破できる力をつけるクラスです。現在の欧米の入試テストで最も難易度の高い英語の教材で指導しています。このことによって、TOEFL や IELTS テストに余裕を持って臨むことができ、高得点を取ることができます。こうした難易度の高い英文には、英語を論理的に読むという訓練が必要です。論理力がない限り、高度な英語力を培うことはできません。このクラスからは毎年 IB スコアで 40 以上(今年は 45 の生徒が出ました)が取れるライティング指導もしています。また、TOEFL100~110 点以上を目指しています。指導期間が必要ですので、お早めにご相談ください。

## 日本語クラス

日本語クラスでは、論理的に読むこと・書くことを基礎から応用 (IB レベル) までの日本語を指導しています。特に、インター生の場合は、インターで優れた教員についている場合、論理力がある程度身に付いています。その力をさらに引き出すことで、高度な日本語をマスターできる方法を開発しました。論理力を身に付けることで、正確な思考力が養えます。それによって、IB の日本語での高得点が取れ、かつ英語のライティングも精緻な構成力を持った論文が書けるようになります。(このクラスからケンブリッジ大学、シカゴ大学、シンガポール国立大学、インペリアル・カレッジ・ロンドン、東京大学などの合格者を出しています。) 論理的な思考力なくして、IB で高得点を取ることは不可能です。日本の教育では、論理をほとんど教えていません。しかし、国際社会で生き抜くためには、論理力が必要不可欠だと私たちは考えています。